

1 明日はいっぱいの果実

監督=斉藤正夫



©1960松竹

1960(S35)松竹大船●白黒●1時間21分●脚本=山田太一、斉藤正夫●撮影=荒野諒一●音楽=木下忠司●美術=岡田要
出演=鰐淵晴子、三上真一郎、杉浦直樹、姫ゆり子、桂小金治、山下洵一郎

※松竹の助監督だった山田の脚本家デビュー作。米軍演習地で弾丸拾いをしていた少女が上京し巻き起こす騒動を描いた、ナンセンス・コメディの怪作。

4 歌え若人達

監督=木下恵介



©1963松竹

1963(S38)松竹大船●カラー●1時間27分●脚本=山田太一●撮影=楠田浩之●音楽=木下忠司●美術=梅田千代夫
出演=松川勉、三上真一郎、津川雅彦、山本圭、川津祐介、倍賞千恵子、若下志麻

※学生寮で暮らす青年達のままならない日常一。山田が自身の経験をもとに描き上げた苦々しい青春ドラマを、師匠の木下が軽やかな喜劇調で映画化。

7 惜春鳥

監督・脚本=木下恵介



©1959松竹

1959(S34)松竹大船●カラー●1時間42分●撮影=楠田浩之●音楽=木下忠司●美術=梅田千代夫
出演=津川雅彦、川津祐介、小坂一也、山本豊三、石浜朗、有馬稲子、佐田啓二

※若者達の友情や挫折を描いた名作の多い山田シナリオを思わせる、木下脚本の青春群像劇。顔を揃えた気鋭の若手俳優達も素晴らしい。

10 夕やけ雲 (英語字幕版)

監督=木下恵介



©1956松竹

1956(S31)松竹大船●白黒●1時間18分●脚本=楠田芳子●撮影=楠田浩之●音楽=木下忠司●美術=平高主計
出演=久我美子、田村高廣、望月優子、田中晋二、有田紀子、山田五十鈴

※東京・下町で小さな魚屋を営む一家の長男は、ある夢を抱いていたが…。木下の実妹・楠田の脚本で描かれる苦々しくも美しい青春譚。

2 背くらべ

監督=大槻義一



©1962松竹

1962(S37)松竹大船●白黒●1時間6分●脚本=山田太一●撮影=小原治夫●音楽=木下忠司●美術=梅田千代夫
出演=川津祐介、島かおり、乙羽信子、中村是好、多々良純、常田富士男

※母と弟と助け合っ暮らす青年の挫折と成長を描いた家族ドラマ。木下組の助監督・大槻のために木下が企画し、同じ門下の山田が脚本を手掛けた。

5 キネマの天地

監督=山田洋次



©1986松竹

1986(S61)松竹●カラー●2時間15分●脚本=井上ひさし、山田太一、朝間義隆、山田洋次●撮影=高羽哲夫●音楽=山本直純●美術=出川三男
出演=中井貴一、有森也実、渥美清、倍賞千恵子

※昭和初期の蒲田撮影所を舞台に、映画館の売り子からスター女優への階段を駆け上がる娘とその父との絆、そして活動屋たちの情熱を描いた感動巨篇。

8 あこがれ

監督=恩地日出夫 | 原作=木下恵介



©TOHO CO., LTD.

1966(S41)東宝●カラー●1時間25分●脚本=山田太一●撮影=達沢謙●音楽=武満徹●美術=青野重一
出演=内藤洋子、新珠三千代、田村亮、加東大介、小沢昭一、乙羽信子、沢村貞子

※児童施設で育った少女と少年が再会し愛を育む。山田も参加したTVドラマ「木下恵介劇場 記念樹」の1エピソードが原作。初主演の内藤が初々しい。

11 この子を残して

監督=木下恵介 | 原作=永井隆



©1983松竹/ホリプロ

1983(S58)松竹●ホリ企画●カラー●2時間8分●脚本=木下恵介、山田太一●撮影=岡崎宏三●音楽=木下忠司●美術=芳野尹孝
出演=加藤剛、十朱幸代、中林正智、西嶋真未、大竹しのぶ、淡島千景、山口崇

※原爆で妻を亡くした医師は、二人の子供を育てながら壮絶な体験を綴り始める。「長崎の鐘」著者の手記を木下・山田が共同で脚本にした反戦映画。

3 愛と死

監督=中村登 | 原作=武者小路実篤「友情」「愛と死」



©1971松竹

1971(S46)松竹大船●カラー●1時間32分●脚本=山田太一●撮影=竹村博●音楽=服部克久●美術=横山豊
出演=栗原小巻、新克利、横内正、東山千栄子、三島雅夫、芦田伸介、伴淳三郎

※親友の恋人を奪ってしまった男に訪れる悲劇とは一。武者小路実篤の2つの小説を山田がシナリオにした文芸大作。ヒロイン・栗原小巻が圧巻。

6 少年時代

監督=篠田正浩 | 原作=柏原兵三、藤子不二雄(A)



©1990(H2)

1990(H2)「少年時代」製作委員会●カラー●1時間57分●脚本=山田太一●撮影=鈴木達夫●音楽=池辺晋一郎●美術=木村威夫
出演=藤田哲也、若下志麻、細川俊之、河原崎長一郎、仙道敦子、大滝秀治

※戦争末期、富山へ疎開した東京の少年と地元の少年の交流を瑞々しく綴る感動作。山田最後の映画脚本で、井上陽水の主題歌も心に残る。

9 藍より青く

監督=森崎東 | 原作=山田太一



©1973松竹

1973(S48)松竹大船●カラー●1時間34分●脚本=森崎東、熊谷勲●撮影=竹村博●音楽=佐藤勝●美術=重田重盛
出演=松坂慶子、大和田伸也、佐野浅夫、赤木春恵、尾藤イサオ、三國連太郎

※昭和19年の天草で、校長の娘と徴兵間近の漁師が愛を貫く。山田が手掛けたNHK連続テレビ小説を原作に、森崎流で描く戦時下の純愛。

12 異人たちの夏

監督=大林宣彦 | 原作=山田太一



©1988松竹

1988(S63)松竹●カラー●1時間48分●脚本=市川森一●撮影=阪本善尚●音楽=篠崎正嗣●美術=藤谷和夫
出演=風間杜夫、片岡鶴太郎、秋吉久美子、名取裕子、永島敏行、入江若葉

※孤独な脚本家が死別した両親と浅草で出会い…。山田の小説を大林監督が映画化。死者との邂逅が切ない懐かしさを呼ぶ大人のファンタジー。

2024年3月23日(土)~4月19日(金)・27日(金) ※=デジタル上映 「山田太一と木下恵介」は、全て35mmフィルムでの上映となります。 各回完全入替制

土日祝	11:00	1:15	3:30	5:45	
平日	12:00	2:15	4:30	7:15	終映時刻 ↓
3月23日[土]	孫悟空(10:30)	1●明日はいっぱいの果実(1:20)	2●背くらべ	3●愛と死	7:17
3月24日[日]	孫悟空(10:30)	2●背くらべ(1:20)	3●愛と死	1●明日はいっぱいの果実	7:06
3月25日[月]	孫悟空(11:30)	3●愛と死(2:20)	1●明日はいっぱいの果実	2●背くらべ	8:21
3月26日[火]	孫悟空(11:30)	1●明日はいっぱいの果実(2:20)	2●背くらべ	3●愛と死	8:47
3月27日[水]	孫悟空(11:30)	2●背くらべ(2:20)	3●愛と死	1●明日はいっぱいの果実	8:36
3月28日[木]	孫悟空(11:30)	3●愛と死(2:20)	1●明日はいっぱいの果実	2●背くらべ	8:21
3月29日[金]	孫悟空(11:30)	1●明日はいっぱいの果実(2:20)	2●背くらべ	3●愛と死	8:47
3月30日[土]	初笑い底抜け旅日記	4●歌え若人達(12:45)	5●キネマの天地(3:00)	6●少年時代	7:42
3月31日[日]	初笑い底抜け旅日記	5●キネマの天地(12:45)	6●少年時代	4●歌え若人達(6:00)	7:27
4月1日[月]	初笑い底抜け旅日記	6●少年時代	4●歌え若人達(4:45)	5●キネマの天地(6:45)	9:00
4月2日[火]	初笑い底抜け旅日記	4●歌え若人達	5●キネマの天地	6●少年時代	9:12
4月3日[水]	初笑い底抜け旅日記	5●キネマの天地	6●少年時代(5:00)	4●歌え若人達(7:30)	8:57
4月4日[木]	初笑い底抜け旅日記	6●少年時代	4●歌え若人達(4:45)	5●キネマの天地(6:45)	9:00
4月5日[金]	初笑い底抜け旅日記	4●歌え若人達	5●キネマの天地	6●少年時代	9:12
4月6日[土]	落語天国紳士録	7●惜春鳥	8●あこがれ	9●藍より青く	7:19
4月7日[日]	落語天国紳士録	8●あこがれ	9●藍より青く	7●惜春鳥	7:27
4月8日[月]	落語天国紳士録	7●惜春鳥	8●あこがれ	9●藍より青く	8:49
4月9日[火]	<設備点検のため休館します>	<設備点検のため休館します>			
4月10日[水]	落語天国紳士録	8●あこがれ	9●藍より青く	7●惜春鳥	8:57
4月11日[木]	落語天国紳士録	9●藍より青く	7●惜春鳥	8●あこがれ	8:40
4月12日[金]	落語天国紳士録	7●惜春鳥	8●あこがれ	9●藍より青く	8:49
4月13日[土]	エノケンのとび助冒険旅行◇	10●夕やけ雲(12:45)	11●この子を残して(3:00)	12●異人たちの夏	7:33
4月14日[日]	エノケンのとび助冒険旅行◇	11●この子を残して(12:45)	12●異人たちの夏	10●夕やけ雲	7:03
4月15日[月]	エノケンのとび助冒険旅行◇	12●異人たちの夏	10●夕やけ雲	11●この子を残して(6:30)	8:38
4月16日[火]	エノケンのとび助冒険旅行◇	10●夕やけ雲	11●この子を残して	12●異人たちの夏	9:03
4月17日[水]	エノケンのとび助冒険旅行◇	11●この子を残して	12●異人たちの夏(5:00)	10●夕やけ雲	8:33
4月18日[木]	エノケンのとび助冒険旅行◇	10●夕やけ雲	11●この子を残して	12●異人たちの夏	9:03
4月19日[金]	エノケンのとび助冒険旅行◇	11●この子を残して	12●異人たちの夏(5:00)	10●夕やけ雲	8:33

★一部の作品に画・音の不良箇所がありますことを予めお詫び申し上げます。★作品名末尾の()内の数字は上映開始時刻です。()の無いものは日程表の上の通常時刻の上映開始となります。

初回は「エノケン生誕二〇年特集」を上映
*詳細は別紙チラシ参照